

病院だより

鳥取市立病院連 しゃんしゃん祭りに 参加しました

令和7年8月14日(木)に行われた鳥取しゃんしゃん祭りに、
今年も鳥取市立病院連として42名の職員が参加してきました。
鮮やかな黄色の浴衣を身にまとい、気合十分に傘の舞を披露しました。
猛暑の中、長時間踊り続けることは大変でしたが、無事最後まで踊り切りました。
沿道での皆さまの温かいご声援ありがとうございました！



理念

基本方針

1. 信頼される病院 2. 心温まる病院 3. 楽しく働ける病院

- 地域における医療福祉の向上につとめ、地域住民のいのちと健康を守ります。
- 地域の中核病院として、地域の医療機関と連携・協調を図ります。
- 二次医療を中心に担当します。
- 医療需要の増大と多様化に対応できる病院づくりを目指します。
- 超高齢社会における治す医療と支える医療の両立を目指します。

医療体験Week

令和7年7月29日(火)～31日(木)と8月3日(日)の4日間、主に鳥取県東部の高校生・予備校生を対象とした医師・看護師・医療技術職の職業体験イベントを行いました。実際に専門職の仕事を体験することで、医療職へ関心を持ってもらい、将来の職業選択の参考にしてもらうことを目的としています。今年は延べ86名の生徒にご参加いただきました。

医師体験

8月3日(日) 参加者13名

医師体験では、手術支援ロボット「ダヴィンチ」操作体験、整形外科手術体験、内視鏡操作体験、腹腔鏡操作体験や一次救命処置体験などを行いました。

ダヴィンチや内視鏡などの操作体験は、カメラから得られる画像情報をもとに、モノをつかんだり移動する体験を行いました。慣れない操作に苦労しつつも、どんどんできるようになっていく過程が面白かったとの感想もありました。これらの機器を使用して実際に処置を行っている医師のすごさを感じたようです。

イベントの最後には医師や研修医と語り合う場を設け、医師の仕事や医師になるまでのことなど様々な質問がありました。医師への目標に向けてのイメージや、医療のことに対しての知見を広げることができたようです。



医療技術職体験

7月29日(火)～31日(木) 参加者45名

医療技術職体験では、薬剤師、臨床検査技師、視能訓練士、診療放射線技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、臨床工学技士の9職種の実験が行われました。参加者は希望する職種にそれぞれ分かれて、各職種の業務の一部を実際に体験し、進路や資格についての話も聞いたようです。参加者からは、実際に体験することでより理解が深まったとの声がありました。

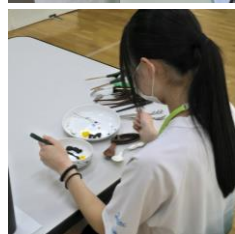
看護師体験

7月29日(火)～30日(水) 参加者29名

午前中は、数名の班に分かれて、それぞれ病棟の看護師と一緒に実際の看護業務を体験しました。ベッドのシーツ交換、バイタルサイン測定、車いす移動介助や洗髪などを行い、患者さんとコミュニケーションをとりながら看護師のお仕事を体験しました。患者さんから「ありがとう」「がんばってね」と直接声をかけられ、生徒たちはとてもうれしかったようです。

午後からは手術室で見学を行いました。手術前の手洗いの実践、清潔手袋・ガウン装着などを行い、貴重な体験ができたようです。

最後に「看護師と語ろう」と題して、看護師に質問する時間を設けました。今回の体験と現役看護師との交流は、これからの進路の参考になったようです。



医療体験の感想

医師体験

この医療体験で実際に手術室に入ってダヴィンチを操作することができて本当に嬉しかったし良い体験になった。色々な体験を通して改めて医師はすごいなと感じた。

医師体験

専門分野にフォーカスした体験や、実際に手を使っでの体験があり、おもしろかったし、今後の参考にもなった。特にダヴィンチ操作体験は初めて医療用ロボットに触れる機会となったのでとても貴重な時間だった。

看護師体験

看護師の方々の仕事をしている姿はもちろん、心から患者さんに寄り添って看護をしている姿に魅力を感じた。自分もそんな看護師になりたいと思った。

看護師体験

はじめて医療の切迫感を肌で感じることができた。患者さんの体温や血圧測定をしたが、患者さんによってコミュニケーションを変えていたのが印象に残った。

臨床検査技師体験

普段では入れない場所に入れて顕微鏡をのぞかせてもらえたり、検査のお手伝いをさせてもらえて、臨床検査技師さんの仕事内容をイメージしやすくなりました。

診療放射線技師体験

実際に見学することでしか分からない空気や本物の機械に触れることができ、検査を行っている様子を見れたことがとても面白かったです。